

NETIS登録番号	技術名称	SEリミッター			
QS-120021-A	副題	プレハブ型の橋梁用変位制限構造			
分類1	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - その他	キーワード: コスト縮減・生産性の向上, 公共工事の品質確保・向上			
分類2	橋梁上部工 - その他				
開発目標	省力化, 耐久性の向上, その他(工期短縮)				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 5571446) <input type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社エスイー 九州支店		TEL	092-473-0191
	住所	福岡県福岡市博多区住吉4-3-2博多エイトビル3階		E-MAIL	koshiro_tsurumura@se-corp.com
	担当者	霍村 浩史郎			
実績件数 H26.3.31現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
	8件	24件		2件	

技術概要: (300字以内)

橋梁上下部構造間の相対変位を制限する変位制限構造である。従来のアンカーバー方式による変位制限構造に対し、高い防錆性能の確保と下部工側突起の点検を容易にしたと共に、コンパクト化してプレハブ型にしたことで、工期短縮、施工性の向上、コスト縮減を可能にした。

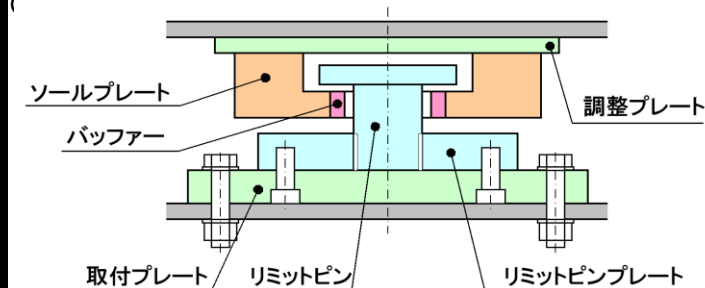
記入欄

期待される効果

- ・プレハブ型としたことで、工期短縮、施工性の向上が図れる。
- ・小口径アンカーで設置可能となり、既設橋への施工において鉄筋の切断の可能性が少なくなった。
- ・リミットピン上部に付けたフランジとバッファーを設けたことで、衝撃的な力を緩和でき、構造体への破壊の可能性を低減できる。また、上部工側ソールプレート内にバッファーを納めたことで、リミットピンの目視点検可能な遊間を確保することができ、維持管理性が高まる。
- ・亜鉛アルミニウム溶射やDMコート等の表面処理は、熔融亜鉛めっき処理と比べ、高い防錆性能を持っている。

写真・図・表

○部品図



タイプ	設計許容力		移動量							
	水平力	上巻力	固定	30mm	50mm	80mm	110mm	140mm	170mm	200mm
	(kN)	(kN)	(0mm)	(4-30mm) ^{※4}	(31-50mm) ^{※4}	(51-80mm) ^{※4}	(81-110mm) ^{※4}	(111-140mm) ^{※4}	(141-170mm) ^{※4}	(171-200mm) ^{※4}
SEL-N230	230	60	○	○	○	○	○	○	—	—
SEL-N340	340	100	○	○	○	○	○	○	—	—
SEL-N450	450	130	○	○	○	○	○	○	—	—
SEL-N560	560	170	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N680	680	200	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N800	800	230	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N900	900	270	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N1000	1000	300	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N1100	1100	340	○	○	○	○	○	○	○	○
SEL-N1200	1200	360	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1300	1300	390	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1400	1400	420	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1500	1500	450	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1600	1600	480	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1700	1700	510	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1800	1800	540	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N1900	1900	570	○	—	○	○	○	○	○	○
SEL-N2000	2000	600	○	—	○	○	○	○	○	○

※4 最大移動量を上限とし、設計に応じた移動量の自由な設定が可能です。

